

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア


















インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/16 （6/9との比較）	6/16 （6/9との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.52% （+0.10）	83.93円 （+2.47%）	+2.3% 2017年1Q	0.50%	中銀副総裁の利上げを示唆する言及などにより、国債利回りは上昇。カナダドルは対円で上昇。製造業売上高は市場予想を上回る内容で、米国の金融政策動向も材料視された。	小売売上高やCPIなどの発表が予定され、引き続き景況感の改善度合いを探る環境。金融政策動向が注目される環境下、国債利回りは上昇する可能性があると思われる。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ブラジル 	BB	9.91% （▲0.19）	33.69円 （+0.66%）	-0.4% 2017年1Q	10.25%	小売売上高は前年比で市場予想を大幅に上回る結果。市場では汚職隠ぺい疑惑の動向をにらみ、神経質な相場展開が継続。中銀が下支えする中、レアルは対円で上昇。国債利回りは低下。	貿易収支などの発表を予定。国債利回りには低下圧力がかかりやすく、レアルも中銀が下支えすると見込まれるものの、政治リスクへの警戒感は根強いことなどから、債券・為替市場は神経質な展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	6.86% （▲0.22）	6.19円 （+1.96%）	+2.8% 2017年1Q	6.75%	NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉への懸念が後退する中、米インフレ統計の低下から追加利上げペースの鈍化が意識され、国債利回りは低下。ペソは対円で上昇。	金融政策決定会合で利上げが見込まれることから、国債利回りは上昇圧力のかかりやすい展開を想定。ペソはNAFTA再交渉への懸念が後退していることから、強含む展開を予想。
	A3	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/16 （6/9との比較）	6/16 （6/9との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.41% （+0.01）	84.48円 （+1.67%）	+1.7% 2017年1Q	1.50%	雇用者数は市場予想を上回る内容。中銀総裁は、国内経済成長率が年初のさえない状況から加速すると言及。米国で利上げが実施され世界的に金利が上昇する中、国債利回りは小幅上昇。オーストラリアドルは対円で上昇。	中銀の政策委員会議事要旨の公表や総裁の講演などを予定。金融政策姿勢を見極める環境で、国債利回りは低下しづらい状況。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.77% （+0.01）	80.42円 （+1.08%）	+2.5% 2017年1Q	1.75%	GDP（国内総生産）は市場予想を下回る伸び。経常収支は市場予想を下回り、住宅販売の前年割れも継続。主要通貨全体に対する円安の影響で、ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	金融政策決定会合では政策金利が据え置かれる見込み。乳製品入札なども実施予定。金融市場は米国債券利回りの動向の影響をより強く受けると予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.55% （+0.08）	13.10円 （+0.92%）	+2.6% 2017年1Q	0.50%	中銀の企業アンケート調査で、過去3か月に生産が増加した企業の割合と、今後6か月に生産増加を見込む企業の割合が前回から増加。景気が底堅いことを示唆。ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは上昇。	中銀理事会を予定。石油産業による下押し圧力が徐々に和らぐ中、経済全体では緩やかな景気拡大局面が続く見込み。景気・インフレともに大きな変化は見られず、政策金利は据え置かれる見込み。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1か月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/16 （6/9との比較）	6/16 （6/9との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BBB-	7.59% （+0.08）	8.65円 （+1.55%）	+1.0% 2017年1Q	7.00%	企業信頼感指数は低下する一方、小売売上高は市場予想に対して上昇するなど経済指標はまちまち。政府による鉱業憲章の見直しを受けて、国債利回りは上昇。ランドは対円で上昇。	経常収支やインフレ統計などの発表を予定。鉱業憲章の見直しでは、関連企業への規制が強化される見通し。政治的な不透明感の残存から、債券・為替市場ともに上値の重い展開を予想。
	Baa3	 金利上昇		 景気鈍化	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	6.67% （▲0.01）	0.83円 （+0.48%）	+5.0% 2017年1Q	4.75%	貿易統計は輸出入とも市場予想を上回り、前年比で大幅に上昇。また中銀は市場予想通り政策金利の据え置きを決定。海外からの投資資金流入が続いたことなどから、国債利回りは小幅低下。ルピアは対円で上昇。	主要な経済指標の発表はなし。米国債利回りが低水準で推移する中、相対的な利回り水準の高さが選好され、海外からの資金が流入しやすい地合いを予想。ルピアは底堅く推移する見込み。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.61% （▲0.01）	1.73円 （+0.64%）	+6.1% 2017年1Q	6.25%	発表された鉱工業生産は堅調な結果。インフレ統計の鈍化から、国債利回りは小幅低下。市場全般の円安を受けて、ルピーは対円で上昇。	主要な経済指標の発表などはなし。国内外で市場に関する材料は少ないものの、GST（物品・サービス税）の導入予定日が迫っていることから、債券・為替市場はともに同税制の動向に左右される展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

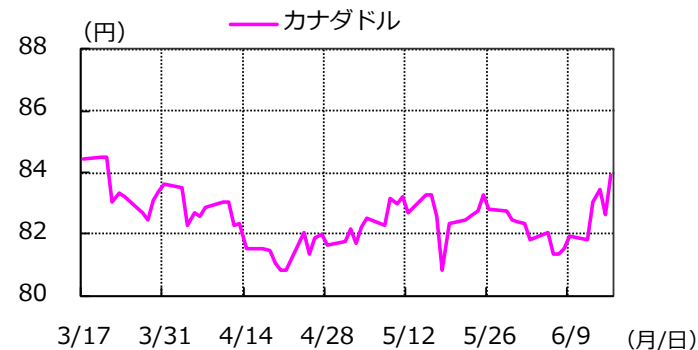
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

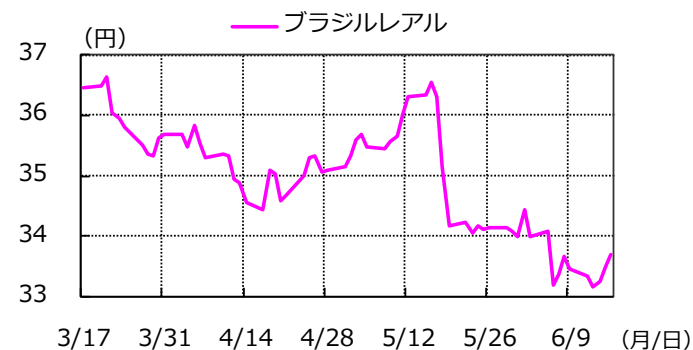
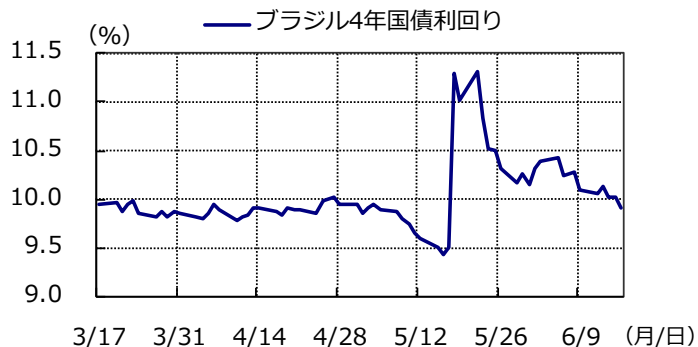
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/3/17～2017/6/16

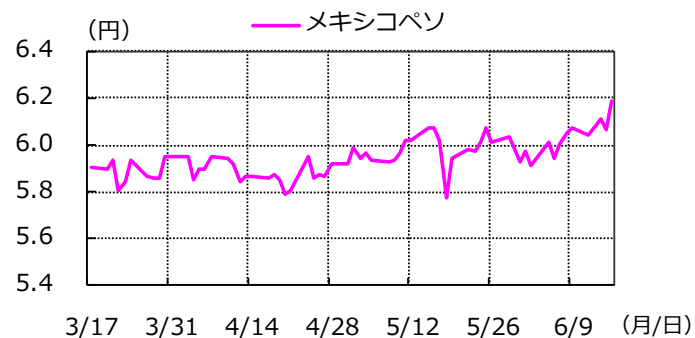
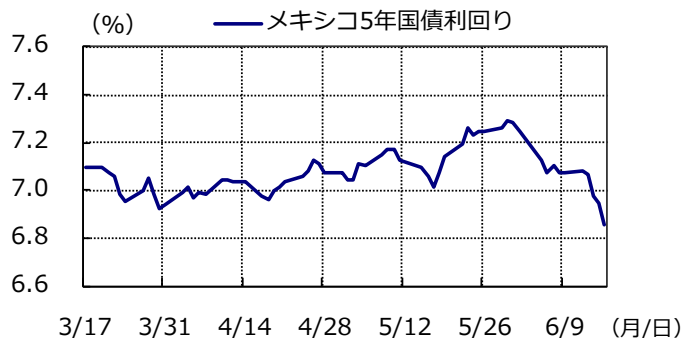
カナダ



ブラジル



メキシコ

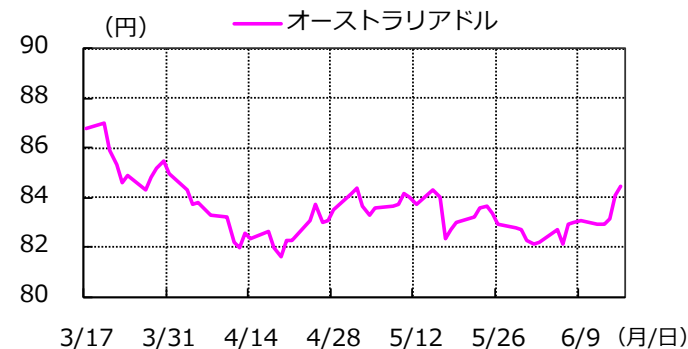
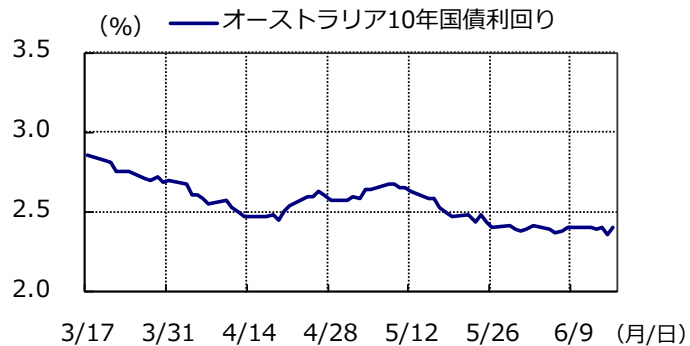


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

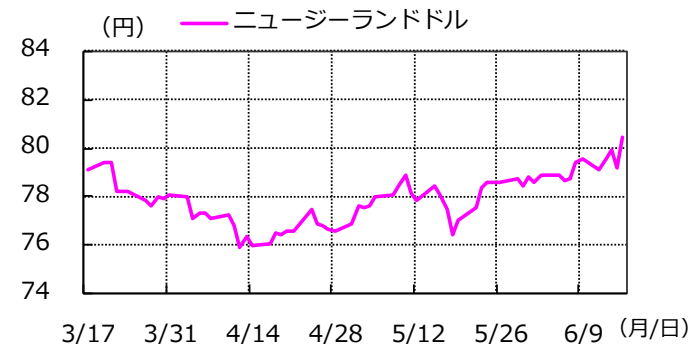
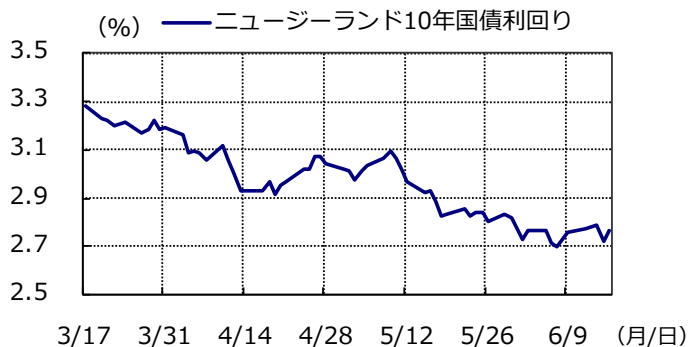
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/3/17～2017/6/16

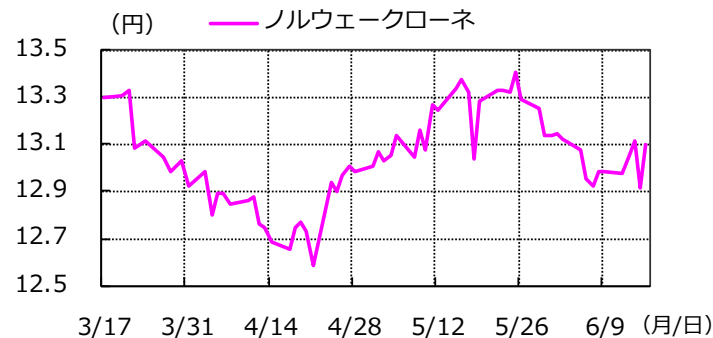
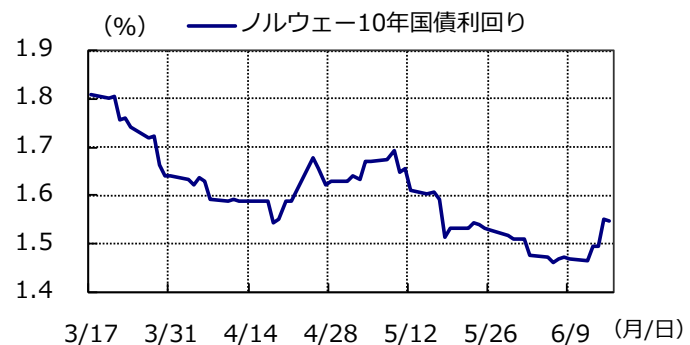
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

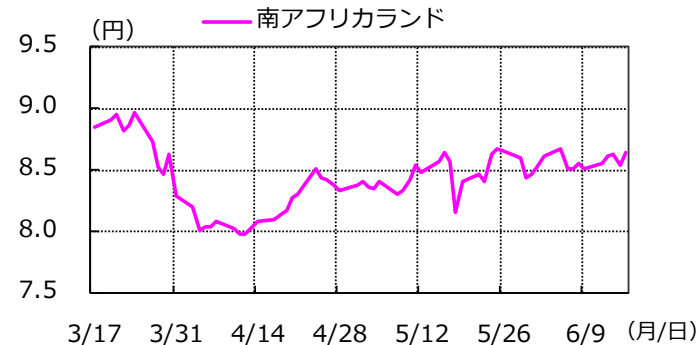
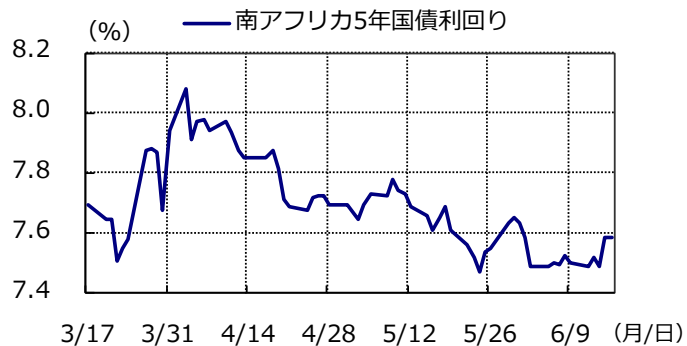


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。(出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成)

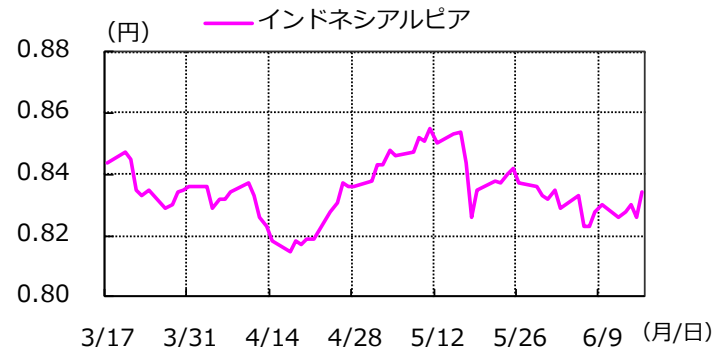
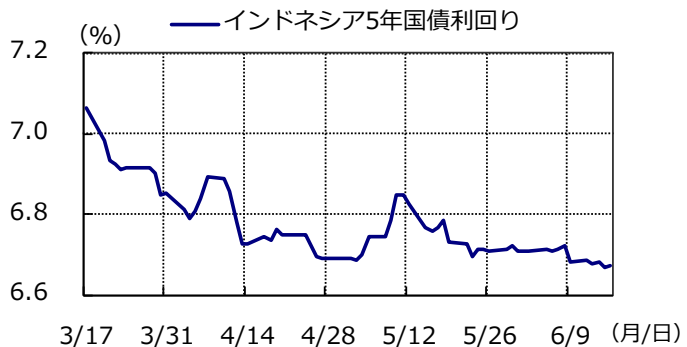
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/3/17～2017/6/16

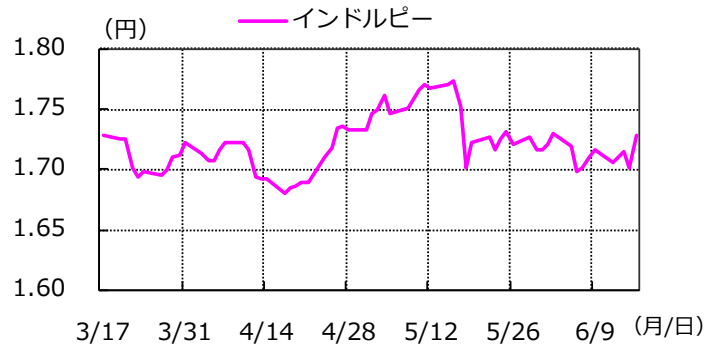
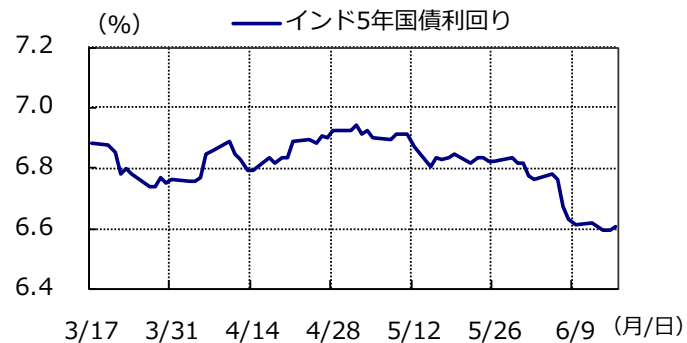
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。